

## 大観衆が出迎える小浜駅前 オリンピック聖火到着



■写真左端／中島節子さん(小浜市)

アジアで初のオリンピックが東京で開催された昭和39(1964)年、日本を縦断する聖火リレーは国内4コースで行われ、福井県は、京都府舞鶴市方面から入った聖火を石川県へリレーしました。

写真は昭和39年9月28日午後12時20分ごろ、待ちに待った聖火が、リレー引き継ぎ地点の一つである小浜駅前に到着した様子を撮影したものです。

聖火を一目見ようと駆けつけた人、人、人。日本は高度経済成長の真っ只中、折りしもこの年9月1日に、県民の悲願でもあった福井国体の昭和43(1968)年開催が内定。そのことも重なってか、聖火リレーは県内各地で熱狂的に迎えられたようです。

写真左方に写っている女子生徒は当時の若狭高校のバトン部で、彼女たちの後方に小浜駅がありました。また写真中央付近のトレパン姿の人たちは伴走者でしょう。約20人が伴走したといえます。小浜市では12区に分けられたリレー区間を聖火が北上し、上中町へ引き継ぎました。聖火の煙がひどく、沿道で人々が見守るときは聖火走者は先頭を行きましたが、人気がなくなると一番後方を走ったというエピソードも残されています。

明治29(1896)年に初回オリンピックが開催されてから108年。オリンピックイヤーの今年、受け継がれ続けてきた聖火は、再びアネの地で熱く燃え盛り、観衆を魅了することでしょう。